

# 第1章 観光振興基本計画策定の背景と目的

## 1. 計画策定の趣旨

本町では、2021（令和3）年度にスタートした「大井町第6次総合計画」に基づき、「おおいゆめの里周辺」を中心とする観光資源を有効活用し、官民連携により新たな施設の整備や交流体験事業をはじめとする観光事業の推進を図り、観光・レクリエーション拠点の構築に向け、取り組みを進めることとしています。

その主な取り組みの一つとして、2024（令和6）年度から2030（令和12）年度までを対象期間とする大井町観光振興基本計画（以下、「本計画」という。）を策定します。

## 2. これまでの大井町の観光の取り組み

本町は、自然豊かな町であるとともに、富士箱根連山、丹沢山塊などの眺望を楽しむことができるのが強みのひとつで、特にひょうたん池から観える富士山は「関東富士見100景」にも選定されています。また、おおいゆめの里やハイキングコース、せせらぎづくり事業などで整備した各種施設、文化財等、観光資源が多数存在するとともに、新たな観光資源として町内の農産物などを活用した特産品づくりも推進してきました。さらに、大井よさこいひょうたん祭や産業まつり、四季の里まつり、お山のひなまつりなど、各種イベントを地域団体等との連携により開催してきました。

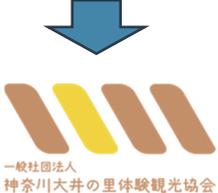
一方、丘陵部に位置する相和地域は、市街化調整区域に位置する中山間地域となっており、高齢化の進行、若者の流出による人口減少によって、担い手が不足し、農地や里山の荒廃が進むなど、地域課題を抱えている状況にありました。そうした中、「おおいゆめの里周辺」を農業体験をはじめとする交流体験の拠点と位置付け、2012（平成24）年には農業体験施設「四季の里」を整備し、農業体験等による交流人口の拡大に向け、取り組みを推進してきました。

さらに、2016（平成28）年度から、相和地区の活性化に向け、地域住民などによる検討部会を立ち上げ、教育旅行などの交流体験を受け入れることで、地域の困りごとを解決する取り組みをスタートさせるとともに、2019（平成31）年3月には地域住民や地域の営農団体等により「（一社）神奈川大井の里体験観光協会」を設立し、本町の観光振興を担う主体として活動を進めてきました。

近年では、教育旅行の受け入れの打診も増えてきた一方で、2020（令和2）年度の新型コロナウイルス感染症の影響により受入状況も一時停滞していましたが、ウィズコロナ・アフターコロナを通じてマイクロツーリズムやワーケーション等多様な旅のスタイルの変化にも対応し、体験型観光の受け入れを進めている状況です。

この様な取り組みの経緯から、ハイキングコース等を活用した自然景観や歴史・文化等の魅力の発信、農業体験施設の運営、交流体験事業を担う法人の整備等、ソフト面の体制構築は一定の成果を出してきましたが、町内唯一の温泉宿泊施設や農業体験施設「四季の里」、おおいゆめの里などの観光資源を更に有効活用し、より魅力の高い観光資源として深化させ効果的なPRを行うことで、本町の観光振興のさらなる充実を図ることが求められています。

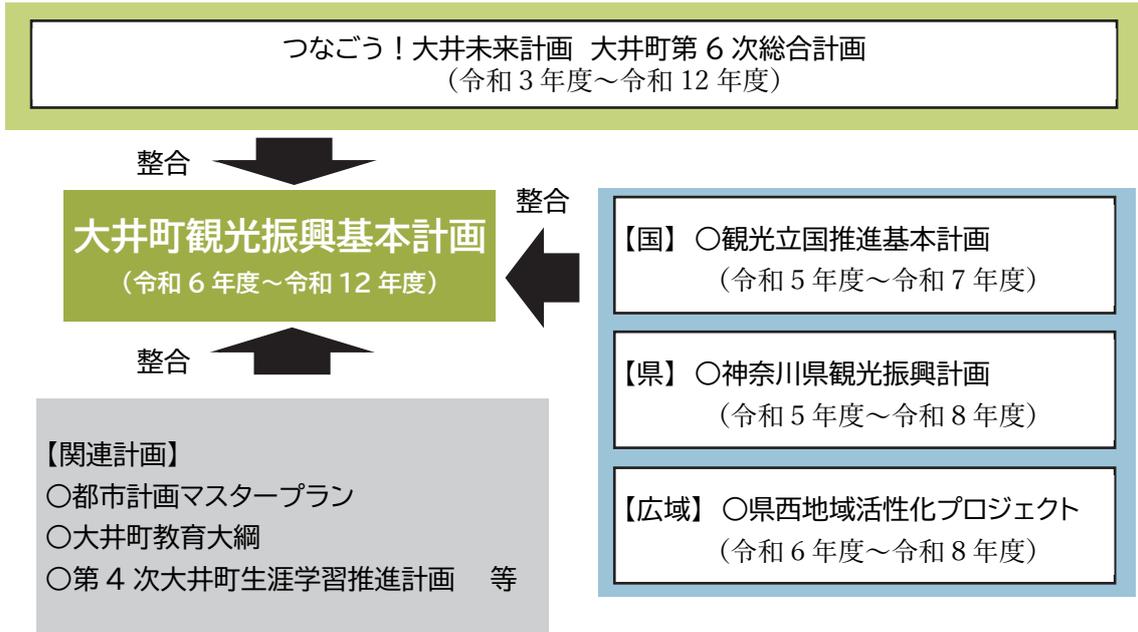
■大井町の観光等に関する歴史年表（2000 年以降）

年	概要
2001	<p><b>第4次総合計画（夢おい21プラン）</b></p> <p><b>「いこいの里・相和」推進プロジェクト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相和地域の「里山」的風景、農地・山林などの地域資源を活用し、都市住民との交流による地域活性化を図る。</li> <li>・手法として、里山の景観の保全・活用を目的として「おいゆめの里」の整備、グリーンツーリズム推進組織として「ゆめおい体験塾」の立ち上げ</li> </ul>
2011	<p><b>第5次総合計画（おいきらめきプラン）前期基本計画</b></p> <p>・農業体験施設「四季の里」開設</p> 
2016	<p><b>第5次総合計画（おいきらめきプラン）後期基本計画</b></p> <p><b>「相和品牌創出」「体験観光の推進」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相和地域において観光拠点となる「おいゆめの里」の整備や農業体験の拠点となる「四季の里」の充実を図る。</li> <li>・交流人口の増加や農業の6次産業化、商工業との連携による地域の活性化をめざす。</li> <li>・相和品牌の積極的な発信と、さらなる賑わいの創出を図る体験観光の推進</li> <li>・「(一社) 神奈川大井の里体験観光協会」の設立</li> </ul> <div data-bbox="925 1160 1348 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【人材育成】自然体験指導者養成講習会開始</li> <li>・【交流体験事業】体験メニューの開発、試行</li> <li>・【民泊事業】民泊試行実施、民泊家庭登録</li> </ul> </div>  <p>一般社団法人 神奈川大井の里体験観光協会</p>
2021	<p><b>第6次総合計画つなごう！大井未来計画</b></p> <p><b>「地域特性を活かした産業の創出と魅力の発信」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の地域特性である豊かな自然環境や多様な農作物を活かした6次産業化や交流体験事業の推進により観光産業の創出を図る。</li> <li>・町の魅力を広く発信するとともに<b>本町への誘客及び関係人口の創出を推進</b> ⇒さらなる観光事業の推進にあたりおいゆめの里及びその周辺の観光拠点化をめざす。</li> </ul>

### 3. 計画の位置づけ

本計画は、観光の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画として位置づけるものです。本町の地域性や特性を十分考慮し、各観光行政庁が策定する観光計画等を勘案するとともに、本町の総合計画、都市マスタープラン等の各種計画との整合を図っています。

#### ■本計画と他計画との関係性



### 4. 計画の目標年度

本計画の計画期間は、2024（令和6）年度から2030（令和12）年度までの7年間です。町の最上位計画である総合計画と整合を図り、適宜見直しをすることとします。

#### ■総合計画と本計画の計画期間

令和6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
大井町第6次総合計画 (令和3年度から12年度までの10年計画)						
前期基本計画		後期基本計画				
第2次実施計画		第3次実施計画			第4次実施計画	
大井町観光振興基本計画 (令和6年度から12年度までの7年計画)						